医療

ベトナムにCL開設

医療法人元気会 海外へ初展開

医療法人元気会わかさクリニック（埼玉県所沢市）は昨年12月、同法人関連法人および医療DX事業を展開するメドリンク（東京都文京区）と連携し、ベトナムにクリニックを開設。同法人で海外でのクリニック開設は初となる。電子カルテなどのデジタル技術を活用、現地の医療の質向上に貢献していく考え。

医療法人元気会
わかさクリニック
間嶋崇理事長

子ども人口23％ ワクチン需要高

クリニック「東京ワクチンセンター」はハノイ市のイオンモール内に開設。「買い物と一緒に立ち寄れるクリニックを目指した」と間嶋崇理事長は話す。質の担保されたワクチン提供に加えて、日系企業「イオン」のショッピングモール内での出店、日本独自の「おもてなし」で、きめ細かなサービスを「日本クオリティー」で提供し差別化を図る。

同クリニックでは主にワクチン接種を専門に行っていくものとなっている。ベトナムの人口構造はピラミッド型で、平均年齢は約30歳と日本と比較して若く、疾患を理由に医療機関にかかる人は比較的少ない。一方、15歳未満の人口が約23％でワクチン接種を必要とする人は多く、そのニーズに応えていくことになった。

▲クリニック外観

▲メドリンク代表取締役CEO安部一真氏（左）と間嶋崇理事長

連携するメドリンクは、ベトナム国内でクリニック向けのクラウド型診療支援システム「MEDi」を提供しているMEDiを活用することで予約から決済までをシステム上で対応可能にし、利用者の利便性の向上を図るとともにスタッフの負担を軽減する。また電子カルテに集約された利用者個人のワクチン接種履歴を活用。必要な時期に必要な種類のワクチン接種を提案するといった仕組みの構築も構想している。

医療ICT化貢献 日本品質で差別化

紹介システム 機能不全状態

同法人ではベトナムでの活用を通じ、現地社会の抱える医療課題の解消も目指すという。

具体的な課題として、ベトナムではクリニックから、小・中病院、大病院へと順に紹介する「リファラルシステム」が適切に機能せず、大病院に患者が集中していることが挙げられる。国民は若い人が多いこともあり、予防、健康管理のために医療機関にかかるという意識が低い。「体調が悪い時、大半の人は薬局で薬を買って済ます。大病院に来るのは本当に困った時で、疾患が悪化しているケースも少なくない」と、本郷久利経営企画部長は現地の状況について語る。

同法人ではリファラルシステムが適切に機能しない理由の1つを、ICT化の遅れにより病院間の連携が取れていないことにあると見ている。そこで現地医療機関と連携しつつ、電子カルテなどICTでそれらの課題の解消も図っていく意向だ。

今後も、ショッピングモール内を中心に、今回と同様のモデルのクリニックを各地に開設していく方針。「日本と医療文化の差が浮き彫りになっている。違いを見極めつつサービスを提供していく」（間嶋理事長）。またベトナムに続く海外展開を見据え、ASEAN諸国の動向にも注目していく。

人生100年時代の住居

セミナー形式で提案

公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構（静岡県長泉町）は28日、「自立のための3歩の住まい普及セミナー 安心・安全・快適な自立を支える設備・福祉機器展」を開催する。会場は静岡県沼津市プラザヴェルデ。

同法人では、人生100年時代に備えて高齢者が安心・安全・快適に自立して過ごせる住環境のモデル「自立のための3歩の住まい」をつくり、モデルルームを設置している。セミナーでは、「自立のための3歩の住まい」を自宅や施設を改修・増築して導入するための設計マニュアルと設計事例について紹介する。

特別講演では、「高齢者の住まいに関する現状と施策の動向」の題で、国土交通省住宅局 安心居住推進課高齢者住宅企画係長の武田高志氏が登壇。国土交通省の「スマートウェルネス住宅事業」をはじめ、高齢者、障害者、子育て世帯などが安心して暮らせる住環境を実現するための施策を紹介。

加えて「自立した生活をかなえる標準設計要件とは」の題でアルテシテの小塚陽子社長、「『自立のための3歩の住まい』を導入するために」の題でメディファ設計の小西正明社長、「福祉用具・介護ロボット最前線」の題で公益財団法人テクノエイド協会の五島清国企画部長が登壇する。

また、会場にはモデルルームも設置、合わせて、福祉機器なども展示する。

参加費は無料。セミナーの聴講には事前申し込みが必要で、セミナー特設ページから20日まで受け付けている。定員に達し次第締め切り。

赤ひげ大賞決定

地域医療の実践表彰

日本医師会

公益社団法人日本医師会（東京都文京区）は1月11日、「第11回日本医師会 赤ひげ大賞」の受賞者を発表した。

同賞は、地域の現場で住民の健康を支えている医師にスポットライトを当て、その活躍を顕彰する。都道府県医師会から推薦された候補者20名から最終的に5名が選定される。

今回の受賞者は、尾﨑眞理子医師（尾﨑医院理事）、石島正嗣医師（医療法人社団青心会 前理事長）、桜井えつ医師（住友医院 副院長）、藤野孝雄医師（藤野循環器科内科医院 理事長・院長）、大久保直義医師（希望ヶ丘病院 理事長）。

その中で、石島医師は高齢者の暮しを支えるため、認知症や独居高齢者が社会問題となる前から支援を続けてきた。1992年に認知症電話相談を開始。24年間市民の相談に応じ、適切な支援につなぐ役目を担ってきた。また、自らケアマネジャーの資格を取得し社会福祉施設の嘱託医を務め、現在は心や精神に関する正しい知識を伝える講演活動を行っている。

T.S.I
Terminalcare Support Institute

株式会社T.S.Iはともに飛躍を目指す
ビジネスパートナーを募集しております

JPX 東証マザーズ上場

T.S.I
サ高住用地の活用・取得
ローコストで設計・建設
サ高住・介護事業所の運営

PARTNER
土地活用をご検討中の方
建築コストにお悩みの方
運営事業者をお探しの方

ABOUT US
サービス付き高齢者向け住宅の土地取得・設計建築・建物所有・運営まで一気通貫で提供しております。東証マザーズへの上場を契機とし、主力事業であるサービス付き高齢者向け住宅の出店拡大、さらなる成長を目指しております。

株式会社 T.S.I　お問い合せ先
TEL.075-393-7177
〒615-8174
京都市西京区桂南巽町 75-4
WEB https://www.t-s-i.jp
株式会社T.S.I 検索